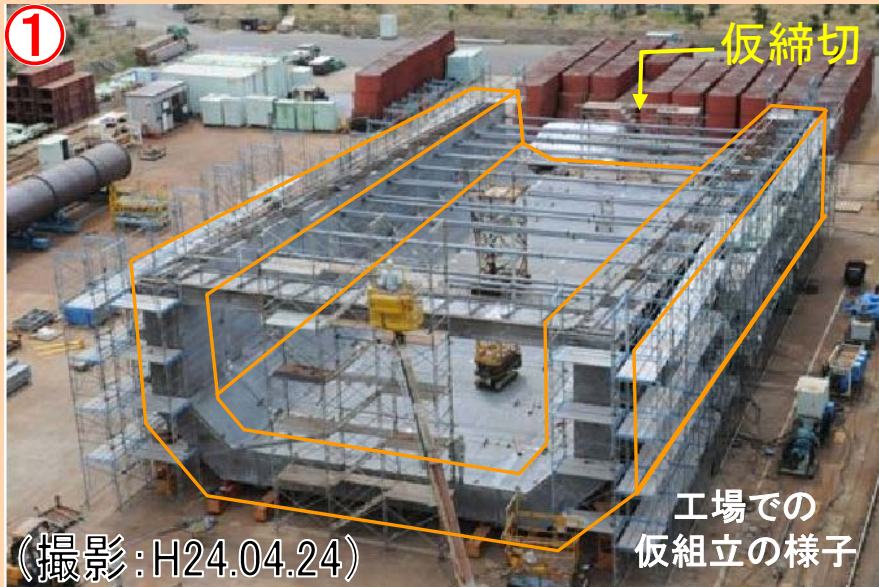


現場紹介・工事進捗状況

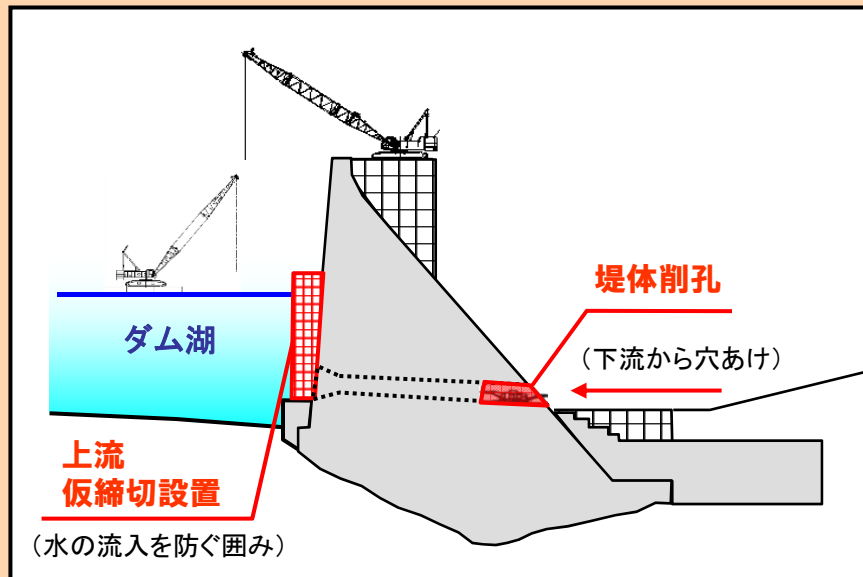


● 上流仮締切とは・・・

堤体削孔では下流からダム堤体に穴を開けていきますが、貫通する際ダム湖の水が中に入ってしまうようにするものです。

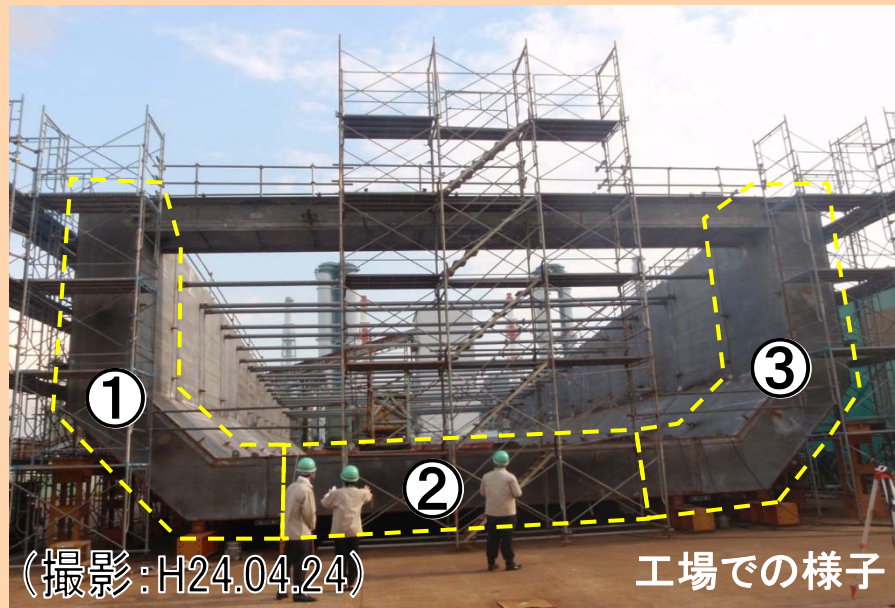
左下の図の様に、ダム堤体の上流側に設置します。

この締切を設置することで締切内で安全に作業する事が出来るようになります。



(他ダム事例)

現場紹介・工事進捗状況



上流仮締切

この仮締切は大阪の工場で作られ船や公道を使ってこの場所まで運ばれてきます。

工場から運ぶ際、このままではサイズが大きく運べないため左下の写真の様に分割して、トレーラーで運搬します。

分割されてきた3つの仮締切を現地で溶接し1つのブロックにします。

現場紹介・工事進捗状況

② 地組立ヤード



● 上流仮締切地組立ヤード

現在、上流側では地組立ヤード(写真-②)にて上流仮締切の組立作業を行っています。

③



● 仮栈橋

出来上がった仮締切は②のヤードから移動台車を使って、この仮栈橋まで運びクレーンで湖面上の船へ降ろしダム堤体の近くへ運搬します。

現場紹介・工事進捗状況

② 地組立ヤード



● 上流仮締切地組立ヤード

現在、上流側では地組立ヤード(写真-②)にて上流仮締切の組立作業を行っています。

③



● 仮棧橋

出来上がった仮締切は②のヤードから移動台車を使って、この仮棧橋まで運びクレーンで湖面上の船へ降ろしダム堤体の近くへ運搬します。

現場紹介・工事進捗状況

4



増設減勢工

現在、日中は気温が高く打設を行うのに適していないため昼に準備をし、夜に打設を行っています。

7～8月の気温が高い時期は夜間打設になります。



5月時点の進捗状況はこちら